

令和2年10月定例会議事録

令和2年10月2日

鹿屋市教育委員会

○日 時 令和2年10月2日(金)
15時から17時まで

○場 所 鹿屋女子高等学校

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	風呂井 敬
教育委員	蓑 田 繼 男
教育委員	早 川 雅 子
教育委員	東別府 睦

○関係者

教育次長	稲 村 憲 幸
教育総務課長	牧 口 充 文
学校教育課長	安 藤 晋 哉
生涯学習課長	鬼 塚 仁
教育総務課課長補佐	柿 内 徹
教育総務課管理係長	中 村 あけみ

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
議案第21号 鹿屋女子高等学校活性化推進委員会設置要綱及び鹿屋市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の廃止について
- 5 報告
鹿屋市議会9月定例会の一般質問について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件 名	審議の状況	採決次第
議案第21号	鹿屋女子高等学校活性化推進委員会設置要綱及び鹿屋市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の廃止について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	本日の定例教育委員会は、鹿屋女子高等学校で開催する運びとなった。新校舎での授業風景を見学し、工夫された快適な環境で学習活動に励んでいる事を確認できて改めて安心した。
2	前回の議事録の承認
教育長	異議無く承認
3	教育長及び委員の報告
早川委員	鹿屋看護学校を訪問した。医療用学習に使用する機材が歴史を感じるようなものばかりであり、鹿屋女子高の吹奏楽部の楽器寄附のようなアイデア等で、医師会等に協力をもらうなどし、時代に沿った機材が必要ではないか。
教育長	今回、新型コロナウイルスの影響で学校の機材を使用し学習をした。これまでは実習先の病院で機材を使用し学習する為、学校の機材は使用しておらず、長期間保管し使用していなかったからであった。機材の見直しが必要である。
早川委員	先月の定例教育委員会での鹿屋女子高の制服のスカートとズボンの選択制について、選択制にすることによりカミングアウトにつながらないか。生徒の人権配慮の為にも授業や用途に応じて、その都度自由に選択できる方向で協議していただきたい。
教育長	校長やP T A等の意見も伺ってみる。
4	議事
教育総務課長	(1) 議案第21号 鹿屋女子高等学校活性化推進委員会設置要綱及び鹿屋市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の廃止について 資料に基づき説明
養田委員	学校の施設設備は整ったが、活性化推進は今後も継続すべきである。どのような形で引継いでいくのか。
教育総務課長	活性化推進委員会は、昨年度、鹿児島女子短期大学の教授や国分中央高校の前校長に委員になっていただき、通学手段や総合選択制、下宿等

<p>教育長</p> <p>風呂井委員</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	<p>の意見をいただいた。詳細については教育委員会の各担当課で協議している。学校独自で協議が必要な件は、コミュニティスクールの学校運営協議会で引き続き議論していただく。</p> <p>政策に対する提言を着々と実現しており、活性化推進委員会は、学校運営協議会が引き継ぐことになる。学校運営委員会とは、コミュニティスクールと一般的には呼ばれており、県内の高等学校では、鹿屋女子高等学校のみ設置されている。昨年からは、鹿屋市内の全小中学校に設置された。これまでは、校長を中心とした学校評議員会を開催していたが、今後は、地域と学校が一体となり学校運営に関わる学校運営協議会を開催する。そして、活性化推進委員会のメンバーを学校運営協議会に加えて学校運営に参加することになる。</p> <p>数年毎に活性化推進委員会を開催し変化してきている。5年後、10年後のビジョンをこれからも具体化していかなければ意味が無い。</p> <p>これからも継続して行く。</p> <p>原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>(異議なしとの発言)</p> <p>異議がないので、議案第21号は、原案可決とする。</p>
<p>5</p>	<p>報告</p>
<p>教育次長</p> <p>東別府委員</p> <p>学校教育課長</p> <p>教育長</p>	<p>(1) 鹿屋市議会 9月定例会の一般質問について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>「交通対策について」の開校時間について、学期の初めに、7時30分以降に登校するよう学校から通知がある。共働き家庭では保護者の家を出る時間が早い時に、一緒に出ざるを得なくなり、毎回挙げられる問題である。開校時間の繰上げとなると教員の苦労も見受けられるがどうか。</p> <p>担任が不在の中、児童を見届けられない為、事故等が発生した場合に対応が遅れる等の問題がある。</p> <p>過去に、早い登校をする児童を狙うという変質者が出た事例があっ</p>

<p>蓑田委員</p>	<p>た。共働きの家庭では、児童より先に家を出る事に不安があるといった実態も理解できる。安全対策を優先して各学校に指導をしている。</p> <p>「書く力」の育成について」の「毎日の日記や生活記録等への自由記述」について、毎日、日記を書き見直すことにより書く力は身につくと思う。学校や教育委員会で調査をしたことがあるのか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>調査はしていないが、多くの学校で授業以外に、日記や生活記録等への自由記述や、作品コンクールへの応募を実施し、評価や称賛を行い、興味や関心をもって取り組めるよう努めている。</p>
<p>東別府委員</p>	<p>提出した日記に担任からのコメントの有無で児童のモチベーションが上がると思う。大変だと思うが、必要なことだと思う。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>教員の力量や時間的な事もあるが指導していきたい。</p>
<p>風呂井委員</p>	<p>「GIGAスクール構想について」で、通信ネットワークも重要であるが、教材を活用し指導する教員の養成が最も重要ではないか。ICT活用をした創造性のある教育に取り組む必要がある。GIGAスクール構想について今後、教育委員会としてどう推進していくのか考える必要がきていると思う。教育にどう生かしていくのか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>ICT機器をどのように活用し、学びにつなげるのかが大事である。今後5年間の教員の指導力向上のロードマップと全体像を作成した。来年4月から各学校で、教育を円滑に指導できるように準備していきたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>教員が教材を活用できなければ授業として成立しない。技量を高める為にプログラムを準備しており、前もって電子黒板を導入できていることでICTを活用した教育の前準備はできている。研修時間を新たに設ける必要がある一方、働き方改革もあり、バランスをとっていかなければならない。</p>
<p>6</p>	<p>動議の討論</p>
<p>教育長</p>	<p>発言がないので、動議はないものとする。</p>
<p>7</p>	<p>その他</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>市中学生英語弁論大会について</p> <p>資料に基づき説明。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(1) 令和3年鹿屋市成人式開催方法についての報告（9月定例会）</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>教育長</p>	<p>新型コロナウイルスに対応し、入場券を事前に発行するという事だが、当日、事前申し込み無しで入場したい者への対応はできるのか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>当日の入場者を把握する為、対象者に漏れが無いように案内や告知をしているが、事前申し込みをしなかった場合でも、当日受付けで入場者への対応はできる。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>(2) 成年年齢引下げにかかる成人式の在り方についての報告（8月定例会）</p> <p>資料に基づき説明</p>
<p>東別府委員</p>	<p>(3) 子ども会アンケートについて</p> <p>地域子ども会のアンケートの学校提出締め切りが、9月30日であったが、集計結果はでているのか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>学校毎に回収したものを10月7日までに市教育委員会へ提出する流れであり、現在回収中である。子ども会の参加状況調査を、今回初めて実施した。</p>
<p>教育長</p>	<p>次回の定例教育委員会は、令和2年11月6日（金）15時00分から教育長室で行う。</p>
<p>8</p>	<p>閉会</p>
<p>教育長</p>	<p>以上をもって10月定例教育委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>